

平成23年7月26日

株式会社 山陰合同銀行

## とっどりの森「カーボン・オフセット」パートナー協定調印式開催について ～鳥取県J-VER地域コーディネーター制度に基づく初のご紹介案件～

山陰合同銀行(頭取 久保田 一朗)では、地域貢献・地域環境保全の取り組みの一環として、鳥取県J-VER地域コーディネーターとしての活動を推進するなかで、平成23年8月2日(火)に鳥取県(知事 平井 伸治)と北陽冷蔵株式会社(代表取締役社長 竹中 弘治、境港市)との間に「とっどりの森『カーボン・オフセット』パートナー協定」(以下、「本協定」という。)を締結し、同日、調印式(別紙)が行われることとなりましたのでお知らせいたします。

鳥取県では、オフセット・クレジット(J-VER)制度を活用した県有林の整備・保全に積極的に取り組んでおられ、全国でも9番目という早い段階で鳥取県県有林J-VERプロジェクトを登録されています。(中国地域のプロジェクトとしては第1号の登録、平成23年6月30日現在では132のプロジェクトが登録されている。)

北陽冷蔵株式会社では、従来よりHACCP(製造工程における衛生管理基準)の主体的な取得による厳格な衛生管理を通じ、環境へ配慮した企業作りを行っておられます。また、鳥取県特産の“紅ずわいがに”を活用した商品開発も進め、“鳥取産紅ずわいがに”の魅力を全国へ発信しておられます。

本件におきましては、当行が、「鳥取県J-VER地域コーディネーター」として、鳥取県J-VERの活用を北陽冷蔵株式会社へ提案し、鳥取県の担当者と連携を図りながら協議を進め、両者のマッチングを行い、今般、本協定の締結に至りました。具体的には、今年度から平成25年度までの3年間にわたり合計60t-CO2(年間20t-CO2×3年)を購入することとなります。

北陽冷蔵株式会社では、年間150万パック以上を出荷する主力商品“グラタンコロッケ(カニ入り)”の製造工程において排出される温室効果ガス(二酸化炭素)について、その一部を本協定に基づいて購入した鳥取県J-VERによって埋め合わせ(オフセット)します。また、鳥取県の使用許諾を受けた“エコトリピー”をパッケージに貼付し、環境配慮型商品としてのPRとともに、鳥取県における森林の整備・保全の取り組みを全国に対して広く発信していかれます。

当行では、引き続き環境経営を志向される地元企業等への積極的な支援・提案を実施してまいりますとともに、これらの取り組みを通じ、地域環境保全および地域経済活性化に資する活動を推進してまいります。

<次頁に続く>

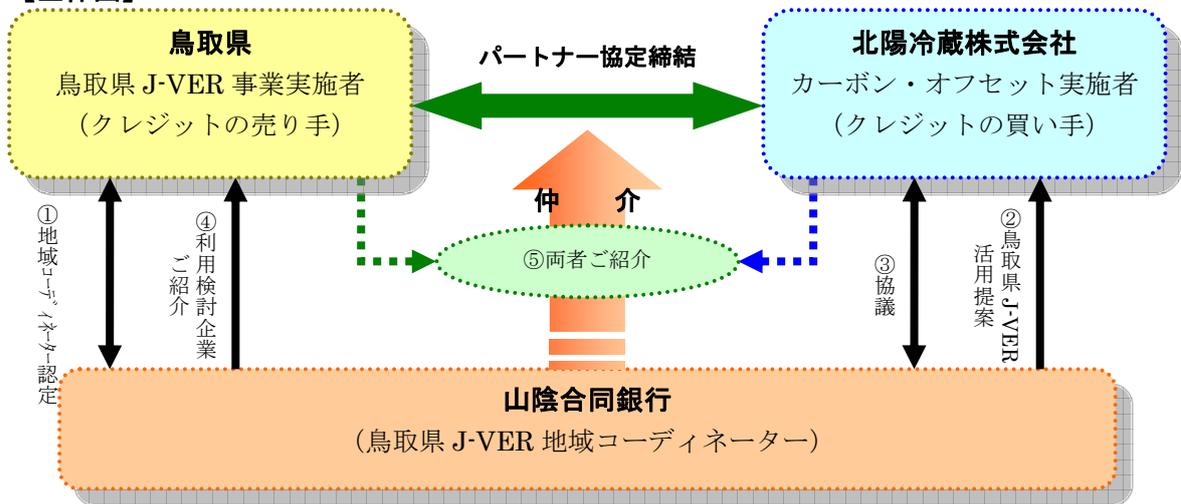
(別紙)

### <調印式の概要>

- (1) 日 時： 平成23年8月2日(火) 11時15分～11時45分
- (2) 場 所： 鳥取県 知事公邸 第一応接室
- (3) 出席者： (敬称略)  
<鳥取県>  
知事 平井 伸治  
<北陽冷蔵株式会社>  
代表取締役社長 竹中 弘治  
※以上は調印者  
<当行>  
専務執行役員鳥取営業本部長 石丸 文男
- (4) 式次第： ①開会／出席者紹介  
②概要説明  
③調印者署名(写真撮影)  
④調印者挨拶(平井鳥取県知事、竹中代表取締役社長)  
⑤経緯・取組説明(北陽冷蔵株式会社、株式会社山陰合同銀行)  
⑥カーボン・オフセット商品の試食  
⑦質疑応答  
⑧閉会

以上

### 【全体図】



#### (ご参考) 鳥取県 J-VER 地域コーディネーターについて

鳥取県が県内事業者等のカーボン・オフセットを推進するため、カーボン・オフセットに取り組む県内外の事業者・団体に対し、カーボン・オフセットの提案及び県有林 J-VER マッチング支援を行うコーディネーターを募集。平成22年12月9日に当行が第一号の認定を受けたもので、活動期間は認定日より平成25年3月31日まで。コーディネーターの活動によって県有林 J-VER の売買契約が成立した場合、鳥取県からコーディネーターに売買契約額の5%が支払われる。